

2025年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月14日

上場会社名 アセンテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3565 URL https://www.ascentech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 崇
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 佐藤 正信 TEL 03(5296)9331
 四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第1四半期の連結業績（2024年2月1日～2024年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第1四半期	2,843	-	153	-	235	-	162	-
2024年1月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2025年1月期第1四半期 186百万円 (-%) 2024年1月期第1四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第1四半期	12.25	-
2024年1月期第1四半期	-	-

(注) 1. 2024年1月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率、2024年1月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2025年1月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期第1四半期	5,391	3,174	58.8
2024年1月期	4,621	3,120	67.4

(参考) 自己資本 2025年1月期第1四半期 3,169百万円 2024年1月期 3,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2025年1月期	-	-	-	-	-
2025年1月期（予想）	-	0.00	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,600	-	355	-	460	-	315	-	23.72
通期	8,000	28.5	745	22.7	850	21.0	580	20.7	43.68

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）株式会社ワンズコーポレーション、株式会社エスアイピー、除外 1社 （社名）－
（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期1Q	13,536,800株	2024年1月期	13,536,800株
② 期末自己株式数	2025年1月期1Q	260,972株	2024年1月期	260,972株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年1月期1Q	13,275,828株	2024年1月期1Q	13,265,628株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	6
(企業結合等関係)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間との比較分析を行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2024年2月1日～2024年4月30日）は、引き続き、ワークスタイルとしてハイブリッドワークの定着が進んでいると考えております。さらに、サイバーセキュリティの脅威の高まりから、セキュリティを守りつつテレワークが可能な仮想デスクトップの需要も引き続き、拡大していると考えております。

当第1四半期連結累計期間においては、事業戦略の一つである「自社製品の開発と展開」において、「Resalio Lynx」と「リモートPCアレイ」を自治体向けに加え、金融機関向けのプロモーションも実施しております。さらに自社製品以外でも、生成AI市場向けの新規事業として、G-Core Labs S.A.とパートナー契約を締結し、益々増大する生成AIのコンピューティングノードをクラウドで提供する「Gcore Edge AI」の提供を開始し、顧客のニーズに対応すべく、営業活動に注力いたしました。

二番目の事業戦略である「ストックビジネス（継続収入）の拡大」においては、引き続き、金融機関、医療、地方公共団体等、業界に特化し、その業界における、お客様導入事例の横展開を図り、リモートPCアレイなどの自営保守サービスを含めた自社製品の売上拡大に注力したことで、当第1四半期連結累計期間の売上ベースでは486,139千円となりました。また、新規受注ベースでも535,079千円となり、今後の売上、利益に寄与してまいります。

三番目の事業戦略である「戦略的事業・資本提携の拡大」においては、当第1四半期連結会計期間より、連結子会社化した株式会社ワンズコーポレーション及び株式会社エスアイピーを連結の範囲に含め、引き続き事業拡大に寄与してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高におきましては、前期に受注した官公庁を含む複数の大型案件において、納品が完了し、売上高に計上しております。

利益面におきましては、円安等によるコスト増の影響を受けているものの、受注時の為替予約（為替ヘッジ）の実施により、為替差益77,187千円を計上しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,843,646千円、営業利益153,426千円、経常利益235,369千円、親会社株主に帰属する四半期純利益162,685千円となりました。

なお、当社グループはITインフラ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、5,391,318千円と前連結会計年度末に比べて769,747千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が384,159千円減少したものの、売掛金が716,607千円及び商品が195,356千円増加したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、2,216,430千円と前連結会計年度末に比べて715,727千円の増加となりました。これは主に、買掛金が442,525千円及び契約負債が234,067千円増加したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,174,888千円と前連結会計年度末に比べて54,019千円の増加となりました。これは主に、配当金の支払132,758千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益162,685千円の計上により利益剰余金が増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2024年2月9日に株式会社ワンズコーポレーションと株式会社エスアイピーの2社を子会社化しております。2025年1月期の連結業績予想につきましては、2024年3月15日発表の「2024年1月期決算短信」で公表しました連結業績予想と差異はございません。

なお、今後、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,236,766	1,852,606
売掛金	788,814	1,505,421
商品	423,233	618,590
仕掛品	14,757	18,884
その他	451,250	545,396
流動資産合計	3,914,822	4,540,900
固定資産		
有形固定資産	61,145	63,898
無形固定資産		
のれん	—	95,153
その他	123,634	133,133
無形固定資産合計	123,634	228,286
投資その他の資産		
その他	531,688	567,952
貸倒引当金	△9,720	△9,720
投資その他の資産合計	521,968	558,232
固定資産合計	706,748	850,418
資産合計	4,621,571	5,391,318
負債の部		
流動負債		
買掛金	447,012	889,537
未払法人税等	144,157	79,899
契約負債	785,725	1,019,792
賞与引当金	—	5,978
その他	82,862	140,881
流動負債合計	1,459,756	2,136,088
固定負債		
退職給付に係る負債	—	29,110
その他	40,945	51,231
固定負債合計	40,945	80,341
負債合計	1,500,702	2,216,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,653	235,653
資本剰余金	246,475	246,475
利益剰余金	2,761,294	2,791,222
自己株式	△237,547	△237,547
株主資本合計	3,005,877	3,035,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,837	66,806
繰延ヘッジ損益	49,302	66,426
その他の包括利益累計額合計	109,140	133,233
新株予約権	5,851	5,851
純資産合計	3,120,869	3,174,888
負債純資産合計	4,621,571	5,391,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
売上高	2,843,646
売上原価	2,505,581
売上総利益	338,064
販売費及び一般管理費	184,638
営業利益	153,426
営業外収益	
受取利息	1,229
為替差益	77,187
その他	3,526
営業外収益合計	81,943
経常利益	235,369
税金等調整前四半期純利益	235,369
法人税、住民税及び事業税	71,542
法人税等調整額	1,141
法人税等合計	72,684
四半期純利益	162,685
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,685

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	162,685
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6,969
繰延ヘッジ損益	17,123
その他の包括利益合計	24,092
四半期包括利益	186,777
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	186,777

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、株式会社ワンズコーポレーションと株式会社エスアイピーの株式を新たに取得したことにより2社を連結の範囲に含めております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2023年12月13日開催の取締役会において、株式会社ワンズコーポレーションの株式(持分比率88.2%)を取得し、子会社化することを決議いたしました。当該決議に基づいて、2024年2月9日に同社株式を取得いたしました。

さらに、2024年2月14日開催の取締役会において、株式会社ワンズコーポレーションの株式(持分比率11.8%)を追加取得することを決議いたしました。当該決議に基づいて、2024年2月16日に同社株式を取得いたしました。

また、当社は、2023年12月13日開催の取締役会において、株式会社エスアイピーの全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。当該決議に基づいて、2024年2月9日に同社株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 株式会社ワンズコーポレーション

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ワンズコーポレーション

事業の内容 ITコンサルからシステム開発、ネットワーク構築、IT人材サービス

②企業結合を行った主な理由

株式会社ワンズコーポレーションは、1996年の会社設立以来、システム開発における経験豊富な人材を有し、ITコンサルからシステム開発、ネットワーク構築、IT人材サービスを主な事業としております。特に大手製薬・医薬、金融、生保企業において多くの実績を残し、お客様から高い信頼を得て事業を継続展開しております。当社グループのITインフラ事業と強いシナジーが見込めるものと判断し、同社を子会社化することとしました。

③企業結合日

2024年2月9日(みなし取得日2024年1月1日)

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

株式会社ワンズコーポレーション

⑥取得した議決権比率

100.0%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式会社ワンズコーポレーションの株式を取得したことによるものです。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年1月1日から2024年3月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	119,000千円
取得原価		119,000千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- ①発生したのれんの金額
29,200千円
- ②発生原因
今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。
- ③償却方法及び償却期間
5年間の均等償却

2. 企業結合の概要

(1) 株式会社エスアイピー

- ①被取得企業の名称及びその事業の内容
被取得企業の名称 株式会社エスアイピー
事業の内容 システム開発からITインフラ提供、保守運用までのトータルサービス
- ②企業結合を行った主な理由
株式会社エスアイピーは、2004年の会社設立以来、幅広いシステム開発を受託し、コンサル、設計から大規模ITインフラ構築、保守運用まで事業展開を行っております。特に、中古車オークション情報システムにおいては、大規模アプリケーション開発からインフラ設計・構築に至るまでを受託し、長期間に渡り先進的なお客様システムの開発と安定稼働に貢献してまいりました。当社グループのITインフラ事業と強いシナジーが見込めるものと判断し、同社を子会社化することとしました。
- ③企業結合日
2024年2月9日（みなし取得日2024年1月1日）
- ④企業結合の法的形式
現金を対価とする株式取得
- ⑤結合後企業の名称
株式会社エスアイピー
- ⑥取得した議決権比率
100.0%
- ⑦取得企業を決定するに至った主な根拠
当社が現金を対価として、株式会社エスアイピーの株式を取得したことによるものです。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間 2024年1月1日から2024年3月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	109,000千円
取得原価		109,000千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- ①発生したのれんの金額
70,960千円
- ②発生原因
今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。
- ③償却方法及び償却期間
5年間の均等償却

(重要な後発事象)

該当事項はありません。